

早稲田奉仕園
**STUDY
HALL**
Vol.34

ストップ!
入管法改悪
つくろう!
難民保護法

写真展

日本社会と難民

～クルド人のまなざしから～

2021年4月16日(金)～21日(水)

[12:00-19:00(最終日は18:00まで)・入場無料]

会場：早稲田スコットホールギャラリー

国を持たない最大の民族・クルド人は世界全体で2000万～3000万人いるといわれています。その内、約2000人がこの日本に住んでおり、その多くがトルコ政府の迫害から逃れ、日本に保護を求めている難民です。しかし、日本では未だに一人もクルド人は難民認定されておらず、安心して暮らせる在留資格もないまま、不安定な生活を余儀なくされています。その中には日本で生まれたり、幼少の頃から日本で育った子どももたくさんいます。

在日クルド人の日常は、この国の不平等なシステムに、どのように脅かされながら続いているのでしょうか。この写真展では、クルド難民を長年支援・取材してきた人々による記録写真を通して、日本ですでに共に生きているクルド人や難民のこれまでとこれからを考えます。また、クルド人をはじめとする、世界各国からの難民や移民に対する入管の長期収容問題についても考えます。

同時開催

映画『この国と私』上映会&監督トーク

クルド難民デニズさんを軸に、入管の長期収容問題に焦点を当て制作されたドキュメンタリー。この国の不平等なシステムの標的となったデニズさんの鋭い問いかけや洞察は、私たちに一体何を訴えかけているのでしょうか。



2021年4月18日(日)のみ 13:15-15:00(開場13:00)

会場：スコットホール222号室(定員10名)、オンライン配信

参加費：1000円 / 学生500円・要申込

中村隆介(監督・学生映像作家)、飯野遼平(助監督・学生映像作家)

詳細・申込みはこちら